



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

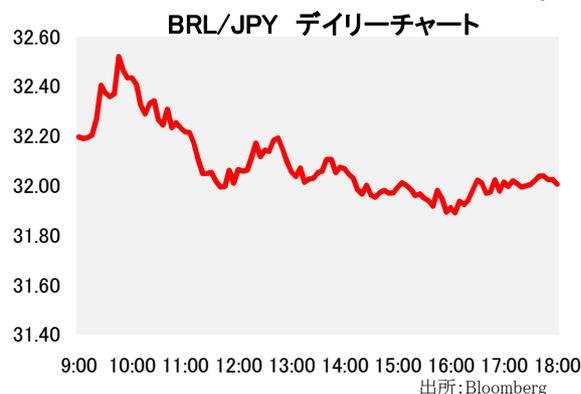
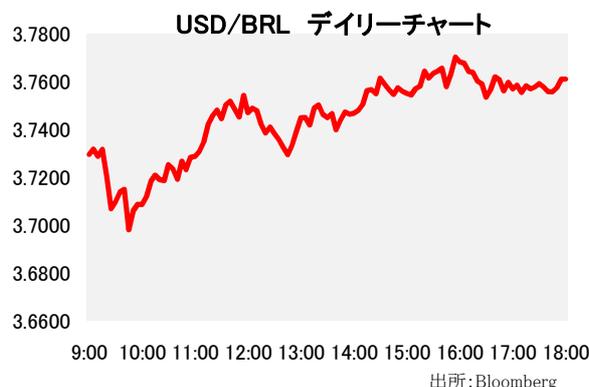
1. マーケット・レート

| | | | 8月27日 | 8月28日 | 8月31日 | 9月1日 | 9月2日 | Net Chg |
|-----|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 為替 | USD/BRL | Spot | 3.5530 | 3.5810 | 3.6200 | 3.6980 | 3.7610 | +0.0630 |
| | BRL/JPY | Spot | 34.06 | 33.98 | 33.46 | 32.27 | 32.01 | -0.26 |
| | EUR/USD | Spot | 1.1246 | 1.1185 | 1.1213 | 1.1317 | 1.1225 | -0.0092 |
| | USD/JPY | Spot | 120.99 | 121.71 | 121.22 | 119.38 | 120.34 | +0.96 |
| 金利 | Brazil DI | 6MTH(p.a.) | 14.119 | 14.142 | 14.338 | 14.211 | 14.260 | +0.049 |
| | Future | 1Year(p.a.) | 14.123 | 14.196 | 14.395 | 14.554 | 14.886 | +0.332 |
| | On-shore | 6MTH(p.a.) | 2.023 | 2.046 | 2.006 | 2.066 | 2.315 | +0.249 |
| | USD | 1Year(p.a.) | 2.735 | 2.748 | 2.693 | 2.742 | 3.114 | +0.372 |
| 株式 | Bovespa指数 | | 47,715 | 47,154 | 46,626 | 45,477 | 46,464 | 987 |
| CDS | CDS Brazil 5y | | 327.80 | 334.67 | 350.00 | 367.59 | 379.31 | +11.73 |
| 商品 | CRB指数 | | 192.635 | 197.101 | 202.091 | 195.999 | 196.776 | +0.78 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 鉱工業生産(前年比) | -6.30% | -8.90% | -2.80% |
| 自動車販売台数 | -- | 207269 | 227613 |
| 商品価格指数(前年比) | -- | 22.70% | 15.93% |
| (米)MBA住宅ローン申請件数 | -- | 11.3% | 0.2% |
| (米)ADP雇用統計 | 200K | 190K | 177K |
| (米)製造業受注指数 | 0.9% | 0.4% | 2.2% |



3. 要人コメント

| | |
|---------|--|
| ルセフ伯大統領 | レヴィ財務相は孤立しておらず、我々は財務相と経済チームに最上級の敬意を払っている。財政赤字の問題を解決することは必要である。 |
|---------|--|

4. トピックス

- 本日のレアルは3.7000で寄り付いた。米8月ADP雇用統計が予想を下回ったことを受けてドルが売られると、レアルは本日の高値となる3.6970をつけた。しかし、7月の伯鉱工業生産が市場予想を大きく下回ったことを受けてレアルは次第に軟調に転じ、その後は終日軟調推移となった。米ページブックで7-8月に大部分の地域で景気が拡大したことが報告されるとドルが上昇し、レアルは直近安値をブレイクして3.7720を示現した。
- 中国株式市場が連休に入ることを受けて、株式市場では短期筋の利食いの動きが出て、欧州株式市場と米州株式市場は軒並み反発した。ブラジルの経済指標が引き続き弱いことを受けて、中銀が本日のCOPOMで政策金利を据え置く可能性が高まったことから、ボベスパ指数は前日比約2%の大幅反発となった。
- ユーロは明日のECB理事会で追加緩和の示唆があるのではないかと観測が広まったことから反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。